

山 形 県

山 形 県 退 職 校 長 会

設立 昭和 40 年 10 月 23 日

最近のあゆみ

- 平成25年度から研修事業「おらほの自慢！教育山形の原点を探る」を始める
- 令和 4 年度ホームページを開設する
- 令和 5 年度から満88歳以上の県会費免除制を始める
- 令和 6 年度結成60年式典・記念講演・祝賀会を開催、会誌記念号発刊する



活動状況

(1) 学校の応援団として

平成30年度以降、採用枠が広がっても受験者が減る「教員の成り手不足」が続いています。学校の応援団として、『教師の喜びと生きがい伝えていこう～先生って「いい仕事なんだ」～』を活動の重点に掲げ、退職後の役職を生かしながら、教職の魅力を発信してきました。

(2) 勧誘困難な時代を迎えて

年金環境の変化等から退職後の就労が当たり前の時代になり、「役職定年＝退校会加入」の定着にむけて呼びかけを続けています。

(3) 情報交流の要として

県事務局は、支部連合体の要として、支部から頼みとされる「つなぎ役」を立ち位置と定め、HPの開設とデジタル化の推進、会報の充実に努めています。

(4) 支部活動の重視

支部にも60年間の伝統があり、その中で培われてきた活動があります。事務局はそれを尊重する立場から「“束ねる”から“つなぐ”へ」を合言葉に関係性を見直しています。

持続可能な組織に

70周年に向けての課題は、「持続可能な組織に育てていく」ことです。そのため、支部との関係においては、「つながりの強化」と「持続可能なペースを尊重した上での調和」を大事にしていきます。

《令和 6 年度会員数 1,708 人》



第42回教育研修会（R 6 年 9 月）